

7 沖縄の石 — 琉球石灰岩



琉球列島を代表する岩石として「琉球石灰岩」があげられます。沖縄島の面積の3分の1を琉球石灰岩が占めています。その琉球石灰岩と私たちとの関わりについて調べてみましょう。

1. 琉球石灰岩の特徴を下の表にまとめてみましょう。

分布	
特徴	
形成成分	
形成年代	

2. 次の写真は、沖縄県で見られるカルスト地形の一部です。下の地形の名称を答えてみましょう。



()

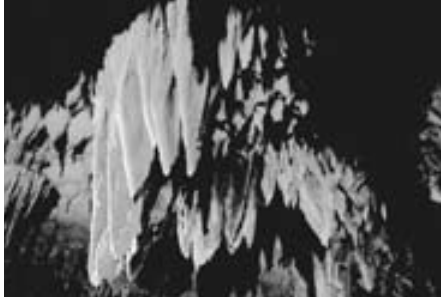


()

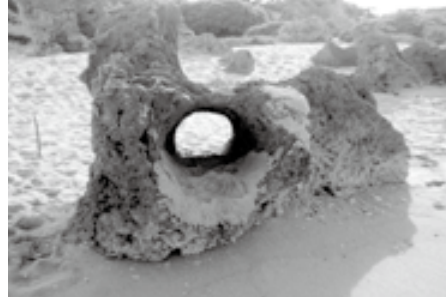
コラム

石灰岩はサンゴや有孔虫など、海に住む生物の死骸（炭酸カルシウム：CaCO₃）で形成されています。特に琉球石灰岩は、形成された年代が新しく約 130 万年前から 7 万年前ごろに形成されました。石灰質で年代も若いため、色は乳白色で空隙（すきま）が多い多孔質という特徴を持っています。

また、石灰岩は酸に溶けるという性質を持っています。そのため酸性の雨が降ると、ゆっくりと溶かされ（溶食作用）、特有の地形になります。石灰岩による特有の地形を「カルスト地形」といって、代表的なものに鍾乳洞があります。中国の山水画で有名な桂林は世界最大のカルスト地形です。



()



()

3. ミヤコノロジカとリュウキュウジカの角をスケッチし、その特徴を記入しましょう。

ミヤコノロジカの角

リュウキュウジカの角

特 徴

()

特 徴

()

ミヤコノロジカもリュウキュウジカも絶滅種^{ぜつめつしゆ}で、現在は生存していません。しかし、沖縄も昔は大型のシカやイノシシがたくさん生息できる広さがあったんですね。ヤンバルクイナもほぼ沖縄島全域に生存していました。現在はヤンバルにしか残っていません。現在のケラマジカは、約400年前（琉球王国時代）に九州から持ち込まれたニホンジカの亜種です。絶滅したシカたちとは関係がありませんのでご注意ください！

